

取付説明書



注意: ブレーキは重要保安部品です。必ずこの取り付け説明書の注意事項をすべてお読みになり、指示に従ってください。この取り付け説明書は、保証期間が終了した後も大切に保管してください。

ご購入日
コントローラ

ディスクの取り付けと取扱説明書

- まず、古いディスクを取り外す際には、元の組み立てネジなどを傷つけないように注意してください。
- 新しいディスクが古いディスクと寸法的に互換性があることを確認してください(直径、穴あけ)。
- ディスクの取り付け位置を清掃し、取り付けが歪んでいないことを確認してください。

ホイールが変形するとディスクが変形します。

- パッキンワッシャーを取り外します。
- ネジを締め付け、斜めになるように徐々に締め付けます(ネジロックコンパウンドを使用)。
 M5 : 0.6 daN.m M6 : 1 daN.m M8 : 2.5 daN.m
- ディスクはキャリパーに対して中央になければなりません。キャリパーの両側や外径でこすってははいけません。
- AERONAL DISC: 回転方向(ディスクの外面にある矢印)を絶対に尊重しなければなりません。
- ディスクの回転の自由度を確認してください: 外側の部品(キャリパーの固定ボルトなど)に2mmの遊びがあること。
- ブレーキパッド:
 - オリジナル・キャリパーを装着している場合: BERINGER®対応のブレーキ・パッドを使用してください。
 - BERINGER® 6ピストンAEROTEC®キャリパーを使用する場合は、BERINGER®ブレーキパッドを使用してください。
 - BERINGER 4ピストン・アキシャル・キャリパーを装着している場合は、BERINGER®ブレーキ・パッド(Ref: 26545(ロード用)/2654R2(レーシング用))を使用してください。
 - BERINGER 4ピストン・ラジアルAEROTEC®キャリパーを装着している場合は、BERINGER®ブレーキパッドを使用してください(参照: 12005(ハイウェイ)/1200R2(レース))。
- オリジナルのキャリパーだけでなく、BERINGER®キャリパーにも上記の推奨パッドを装着して使用しないことは危険です。



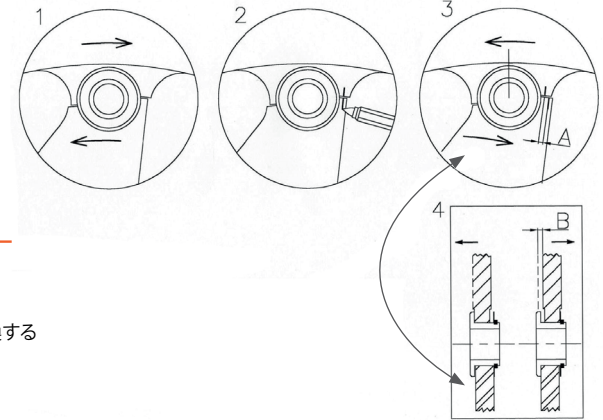
ノータベネ CBR1000 DUAL、VFR-87、660 XTZなどの場合は、キャリパーを支えるアダプターを滑らかに研磨して、ディスクとのクリアランス(1mm以上)を確保する必要があります。実際、性能を向上させるために、BERINGER®のディスクは純正のものよりも厚みがあり、浮いています。

ベリンガー® 鑄鉄製ディスクの制動力と耐久性(厚さ5 mm以上)を最大限に発揮させるためには、ディスクとパッドを過度に加熱せずに、ライディングに際して、徐々に制動力を加えて100~300 km走行しなければなりません(激しく、繰り返し、連続的なブレーキングは避けてください)。ディスクの表面が完全に滑らかであれば、ランイン期間が終了したことを示します。

注意 最初のブレーキは絶対に非常に軽くなければなりません。これはブレーキコースのコーティングを除去するためのものです。これを守らない場合、パッドやディスクを損傷させる危険性があります(振動)。慣らし運転期間中は、制動力が一時的に低下します。

- 自分のライディングスタイルに合わせたブレーキパッドを使用してください: パッドを交換した後は、以下の指示に従ってください。章: 'キャリパーの取り付けと使用方法'を参照してください。
- パッドを交換した後のランニングインを忘れずに。
- あなたはしばしばブレーキトラックの摩擦領域を検査する必要があります: それは鮮やかなまたは青や暗褐色でなければなりません。エリアが鈍くなっている場合は(以下のようにサンドペーパーで研磨されている場合)、ディスクとパッドの両方が急速に摩耗する危険性があります。これはローブレーキを何度もかけた後、雨の中を長時間走ったりした場合に起こる可能性があります。その場合は、パッドの摩擦面をラミネートし、ディスクに新しい保護膜を敷き詰めるために、強力なブレーキングを行うことをお勧めします(ブレーキ・パッドに関する章を参照)。
- ディスクの洗浄には、シンナーや高圧洗浄機、塩基性化学薬品は絶対に使用しないでください。水に石鹸を混ぜたものを使用してください。圧力をかけずにきれいな水ですすぎます。

チョーム仕上げ: 一部のパーツはクローム仕上げでお届けします。このコーティングは、モーターサイクルを臨時に使用する場合にのみ使用してください。いかなる状況下でも、水や腐食性のある製品(除雪用の塩など)をクロームに付着させないようにしてください。砂利による損傷も保証の対象外となります。



ブレーキディスクの最大摩耗量 ベリンガー

ハブの隙間。
 A < 1.5mm : 良好
 A > 1.5mmまたはB > 3mm。ハブを交換する
 A > 2mmです。ストップ!

ローターの厚さ 最小5mm

キャリパーの取り付けと活用

BERINGER®キャリパーは、オリジナル部品の直接交換用として取り付けられ、アダプタープレートはありません(特別なキットを除く)。ただし、一部のキャリパーには、不正確に加工されたフォーク・バルブを補正するためのパッキン・シムが付属しています。BERINGER® 6ピストン・キャリパーは、ディスクの位置を完全に合わせる必要があります。



組み立ての際には、以下の点に特に注意すること。

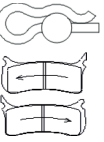
- 組立ネジ(ネジロックコンパウンドを使用)は、キャリパーのタップ穴全体を貫通し、反対側に突出しないようにしなければなりません(組立ネジは絶対にディスクに触れてはいけません)。

締め付けトルク: M10 : 4 daN.m. M8 : 2.5 daN.m

- ディスクはキャリパーに対して中央になければなりません。キャリパーの両側や外径でこすってははいけません。
- ブレーキフルードは、DOT 4 承認のもののみを使用してください。非鉱物性シリコン製の「レーシング」フルード(非混和性)は絶対に使用しないでください。
- 完全なフルードパージを行うには、キャリパーをフォークから取り外し、パッキンシムをフォークの間に挿入することをお勧めします。パッドを押して(ピストンが完全に出てこないようにするため)、キャリパーを回転させてください。その後、キャリパーをすべての位置で回転させ、タップします。ブリードバルブに気泡が入るように軽く押し上げます。

締め付けトルク: ブリードニップル 1 daN.m **送りねじ:** 1.7 daN.m

- マスターシリンダーは必ずブリードする必要があります(交換してなくても)。
- 押し下げられた後、マスターシリンダーのピストンは、その最大のアップで、迅速に、完全に、自由に、そしてスムーズに戻ってくる必要があります。制動回路が大気圧になるように休息位置を設定します。
- ブレーキパッド交換。
 - 使用済みのパッドを取り除く
 - 乾いた麻布ではなく、乾いた布で慎重にピストンを清掃します。
 - このようにして洗浄されたピストンは、そのハウジングに引き込みます。
 - 洗浄したピストンをハウジング内に押し込みます。
 - キャリパーの種類に応じて次のように新しいパッドを装着し、上記の手順で走行させてください。
 - 2および4ピストンアキシャルキャリパー: Bピンが軸に完全に深く沈み込んでいることを確認してください。
 - 4および6ピストンラジアル AEROTEC®: ガイドスクリューを緩め、パッドを交換し(回転側に注意)、ねじロックコンパウンドをねじに塗布し、1,2 daN.m.まで締め付けます。



注意! これからは制動力の変化がすぐに出てきます。ブレーキレバーを操作すると、バイクがかなり減速します。制動力の制御が不十分な場合の結果については、ベリンガーは一切の責任を負いません。

- キャリパーの洗浄には、シンナーや高圧洗浄機、塩基性化学製品は絶対に使用しないでください。水に石鹸を混ぜたものを使用してください。圧力をかけずに透明な水ですすぎます。圧縮空気でキャリパーを吹かないでください。
- ブレーキフルードは、最低でも2年に1度(通常使用時)、またはレース後(レースコンディション)には、DOT 4を使用して交換しなければなりません。

チョーム仕上げ: 一部のパーツはクローム仕上げでお届けします。このコーティングは、モーターサイクルを臨時に使用する場合にのみ使用してください。いかなる状況下でも、水や腐食性のある製品(除雪用の塩など)をクロームに付着させないようにしてください。砂利による損傷も保証の対象外となります。

油圧マスターシリンダーの取り付けと操作説明書

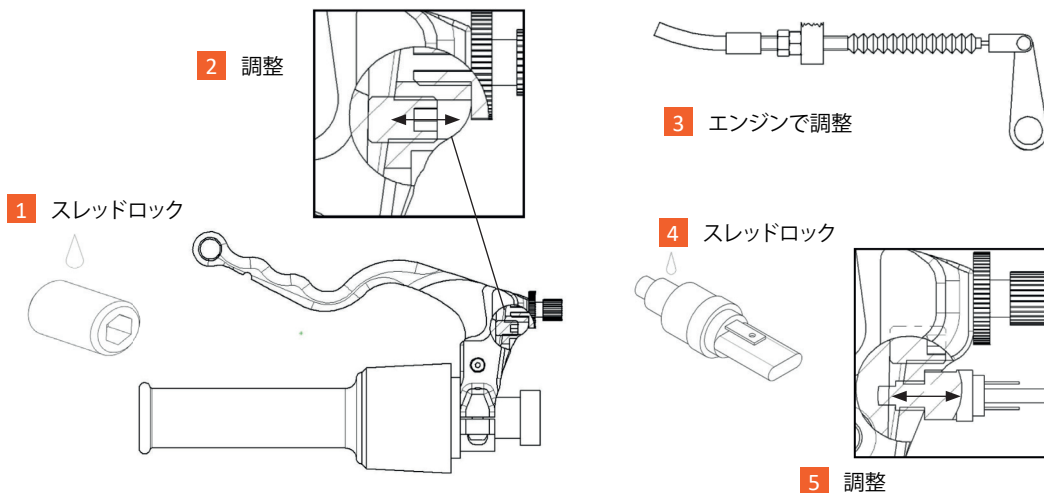
1. キャリパーに空気を入れずに、前のマスターシリンダーを慎重に取り外します。
2. BERINGER® AEROTEC® RADIALマスターシリンダーを装着し、レバーを握る最適な位置を考慮して位置を調整します。隙間は親指のホイールで調整できます)、固定ボルト2本を少しだけ締め付けます。
3. キャリパーからのホースをマスターシリンダーの送りネジに接続します。
4. リザーバーの給水ホースを接続します。
5. ハンドルを右に動かして左ストップをかけ、以下の点を確認できるようにします。
 - ・ マスターシリンダーは、バイクの一部の部品(ケーブル、エアホース、フェアリングなど)と接触しないようにしてください。
 - ・ ホースがマスターシリンダーのボディを引っ張ってはいけません。
 - ・ 供給ホースがニップされておらず、マスターシリンダーの大気圧を許容しています。
6. 固定ボルトを緩め、マスターシリンダーの位置を調整して、気泡が上向きに動きやすいようにブリードバルブ。わずかにねじ込みます。
7. 送りねじを推奨トルク 1.7 daN.m. で締め付けます。
8. 密閉された新しい容器に入っている DOT 4 承認のブレーキフルードのみを使用して、ブリードスクリューでマスターシリンダーをブリードします。他の「レーシング」シリコン液を使用しないでください。
9. ブリードバルブが開いた状態で、マスターシリンダーを回転させる際にパッドを後退させて、最終的にはバンジョー
10. 完全なブリードを得るためには、マスターシリンダーをハンドルバーから取り外し、可能な限りの位置で回転させてを少しだけ叩いて、小さな気泡がブリードスクリューまで移動するようにします。
11. ブレーキシステムに気泡が残らないことが必須です。
12. ブリードスクリューを推奨トルク 1 daN.m でねじ込み、マスターシリンダーの位置を適切に調整し、固定ボルトを推奨トルク 1 daN.m でねじ込みます。
13. それを押し込んだ後、マスターシリンダーのピストンは、ブレーキシステムの大気圧を許容するために、その最大休息位置に段差をつけることなく、迅速に、完全に、そして自由に戻ってこなければなりません。キャリパーの1つのピストンを押しと、マスターシリンダーのリザーバー内の制動液レベルが上昇しなければなりません。
14. マスターシリンダーの洗浄には、シンナーも「ブレーキクリーナー」もアルコールもプレッシャークリーナーも絶対に使ってはいけません。
15. ブレーキフルードは、少なくとも2年に1度(バイクの通常使用)、またはレース後(競技会)に交換し、密閉された新しい容器に入ったホモロゲーション DOT4 を使用してください。他の「レース用」シリコンフルード(混和性のないもの)は使用しないでください。

レバーを調整するには



ケーブルクラッチの取り付けと使用

1. 前のシステムを削除します。
2. BERINGERケーブルクラッチを取り付けます(油圧マスターシリンダーに関する上記の説明を参照)。
3. ケーブルを接続します。
4. レバーのクリアランスを調整する:レバーを離れた時のケーブルの自由度を尊重してください。



リアマスターシリンダーMC12.7の取付説明書

この揺動マスターシリンダーは、全体がロードエンド(航空機品質)で取り付けられています。

1. ブーツのペダル位置を確認し、ペダルに触れないようにしてください。
2. 必要に応じて、ボールエンドをねじ込んだり緩めたりしてペダルの位置を調整します。
3. ロックナットをブロックします。

警告 ペダルを押しした後、ペダルとピストンが完全に初期位置に戻っていることを確認してください。



ご購入製品	ご購入日	年 月 日
販売店	販売店名・住所	お客様
		お名前 ご住所 〒 電話番号

以下の場合、1年保証の対象外となります。

レースでの使用、または本説明書に記載の推奨事項に従わない場合。
BERINGERの指示に従わない場合は、保証は解消されます。
通常の摩耗、色の経年劣化、クローム仕上げは保証の対象外となります。
DOT4以外を使用した場合。
販売店名・ご購入日の記載がないものは無効です。

最高のブレーキとは、お客様が望む用途に適切に合ったものです。
私たちは、レース含めあらゆる用途に対してお応えします。いつでもお気軽にお問い合わせください。